

野原邦彦 個展「SHABON」—泡と盆栽、木の温もりが交差する“心地よい瞬間”
9月9日(火)より gallery UG Tennozにて

株式会社 UG ASSEMBLE (本社:品川区東品川 / 代表取締役社長 佐々木栄一郎) は、
2025年9月9日(火)から9月27日(土)まで、
専属アーティストである野原邦彦の個展「SHABON」を
gallery UG Tennoz(東京・天王洲)にて、開催いたします。

野原は一貫して「心地よい瞬間」をテーマに制作を続けてきました。
本展では、新作シリーズ《SHABON》を中心に発表。

泡(しゃぼん)と盆栽という一見無関係なモチーフを融合することで、観る者の感覚に揺らぎをもたらす独自の世界を構築します。

野原の木彫作品は、一木から彫り出されるダイナミックな造形が特徴です。制作過程で生じるヒビ割れもあえて残し、ラフで力強い質感を生かしながら、泡や頬の丸みを想起させる柔らかなシルエットを併せ持っています。そのフォルムには、自身の子どもの日常生活の記憶が反映され、個人的な体験が普遍的な「心地よい瞬間」へと昇華されています。

また、作品に繰り返し登場する「水中メガネをかけた人物像」は、「匿名性」の象徴として観る者に自身の記憶や感情を投影する余地を与えます。観る者が、自らの「ふとした幸せな記憶」を呼び起こし、自らの内面を探求することが促されます。

この「匿名性」のテーマは、現代社会における多様性や包摂性といった価値観とも呼応し、また新たな視点をもたらします。

これまで野原は、

上野の森美術館(2017年「ステキな時間」、二条城(2021年「Living History」)

ザ・リッツカールトン東京(2023年「Floating moment」)

香港TOWN CLUB(2024年「The Flavor of Art」)、マイアミでの「Art Miami」(2024年)

など、国内外で精力的に発表を重ねてきました。

本展はその活動の延長線上にあり、代表的なモチーフと木彫表現を通じて、新たな視点をもたらすものとなります。

展覧会概要

展覧会名:野原邦彦 個展「SHABON」

会期:2025年9月9日(火)~9月27日(土)

開廊時間:11:30~18:30

休廊日:日曜・月曜(ただし9月14日・15日は開廊)

会場:gallery UG Tennoz(東京都品川区東品川1-32-8 TERRADA ART COMPLEX II 2F)

【お問い合わせ先】

gallery UG Tennoz(本店)

E-mail:info@gallery-ug.com

Tel:03-6260-0886